



導入編

オンライン MTEPセミナー

# RoHS/REACH に対応する 自律的マネジメントシステムの構築

— 変わる規制、変われるか自社対応 —

2021年9月29日(水) 10:15~17:00

ご受講された方全員に  
副読本を進呈いたします

開催方法 オンライン開催 \*ZOOM

受講料 5,500円(税込)

講師 (一社)東京環境経営研究所(TKK)所属 中小企業診断士

定員  
80名  
(先着順)

テーマ

『法規制の本質と新たな課題を知る』

対象

企業における化学物質規制対応の実務担当者  
新任担当者 ・ サプライヤーの方

目的

自社の「利用可能な最良の技術(BAT:Best Available Technology/ Techniques)」を見極める変化を知り自社が取り込むべき情報を先手、先手で選択することが必要です。他社を真似るのではなく、自社の価値観でリスクベースの考え方により何を何処まで取り込むのかを見極めることが重要です。

内容

- Part1** 環境先進国EUの規制動向を確認します。規制の潮流を踏まえて、EU法令のREACH規則及びRoHS指令を題材にして、基本的要求事項と新たな動きを理解します。
- Part2** 中国RoHS管理規則を事例として、EU RoHS指令が踏襲されている規制事項と中国独自の規制内容を理解します。これらEUと中国の規制内容から、法規制の本質の理解を深めます。
- まとめ** パネルディスカッションでは、講師間、受講者と講師間と論点について深掘りをします。双方向で論点を整理していきます。法規制の本質を知り、新たな規制技術を知ったうえで、自社としてどこまで対応すべきなのかを考えていただくのが狙いです。検討した結果を整理し、自社のマネジメントシステムの改定項目を明確するのがBATです。

プログラム

10:15~10:20	オープニング	(一社)東京環境経営研究所 理事長 松浦 徹也 氏
10:20~11:10 (50分)	<b>Part1</b> EUの環境政策の動向	(一社)東京環境経営研究所 常務理事 井上 晋一 氏
11:20~12:10 (50分)	新たな規制物質の動向 POPs条約(UV328)、TSCA(PBT)、化審法(PFOA)	(一社)東京環境経営研究所 シニアコンサルタント 岡本 麻代 氏
13:00~13:50 (50分)	<b>Part2</b> REACH規則の本質 CLS、認可、制限物質の動き	(一社)東京環境経営研究所 シニアコンサルタント 長野 知広 氏
14:00~14:50 (50分)	RoHS指令の本質 附属書IIIの動向、CEマーキング	(一社)東京環境経営研究所 シニアコンサルタント 祝嶺 春樹 氏
15:00~15:50 (50分)	中国RoHS管理規則の本質 CGPマーキングとIEC63000:2016	(一社)東京環境経営研究所 シニアコンサルタント 柳田 寛 氏
16:00~17:00 (60分)	パネルディスカッション	講師全員

※終了後、個別相談会を開催いたします(事前申込要)



MTEP(広域首都圏輸出品技術支援センター)とは、1都10県1市の公設試験研究機関が連携し、海外規格に関する無料相談や情報提供などの海外展開支援を行っている共同運営事業です。

主催:(地独)神奈川県立産業技術総合研究所(KISTEC)

後援(一部申請中): (地独)東京都立産業技術研究センター (一社)東京環境経営研究所 (一社)東京都中小企業診断士協会 (公社)環境科学会 (公社)電気化学会 (一社)表面技術協会 (一社)電子情報技術産業協会 川崎商工会議所 (株)ケイエスピー

## ●カリキュラム編成者からのメッセージ●

「ゆく河の流れは絶えずして、しかも、もとの水にあらず」（方丈記 鴨長明）と時の流れが緩やかであった鎌倉時代でも、変化は関心事でした。現代は、WSSD目標(2020年)、SDGs(2030年)そしてUN75目標(2045年)と変化は速く、その変化幅は大きくなっています。日々の変化を、放置していると短期間で大きな壁となり、乗り越えられない変化になるともいえます。そして、今日のビジネスモデルも将来は否定されるかもしれません。日々の変化を取り込む必要がありますが、5年先、10年先の規制の姿を予測し、ビジネスモデルを変える準備もしなくてはなりません。

EUの環境政策が世界を動かしていることは実感しています。EUの潮流がEUグリーンディール(A European Green Deal)で、「2050年までにEU全体で二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)の排出を実質ゼロにする炭素中立(カーボン・ニュートラル)の実現を目指す」をゴールとし、「産業をクリーンな循環型経済へ動員する」、「汚染のない環境を目指すための汚染ゼロ目標」などの要素が示されています。環境規制の先進的規制をしているEUの潮流を自社対応の予兆とし、先取りして変化を取り込む仕組みを“自律的管理システム”として構築する必要があります。

これらの潮流を解説し、REACH規則やRoHS指令の本質を説明します。この基礎知識を踏まえて、リスクベースで順法基準を捉え、自社の身の丈に合った、守れる仕組みによる、他社にない独自の自律管理システム(CAS)構築を目指します。本コースのまとめとなる自律編では、グループ演習を通してCASを技術文書に整理していくことで、他社と自社の相互研鑽を狙います。

～本講座は4つのパートで構成しています～

実務で活かせる実践編を併せて受講することをお勧めします

## Part 1 新たな規制の動向を知る

EUの環境政策、中国やアメリカの環境規制法

導入編

## Part 2 企業が順守すべき典型的な法規制を知る

EU REACH規則、CLP規則、RoHS指令 など

## Part 3 他社の取り組みを知る

他社の常識は自社の新知識／グループ討議で相互研鑽をする

実践編

## Part 4 第三者に自社システムを説明する文書を作成する

技術文書(TD)と適合宣言書(DoC)を作成する

2021年度  
冬季開催予定

一般社団法人 東京環境経営研究所 理事長  
一般社団法人 産業環境管理協会 技術参与  
松浦 徹也 (中小企業診断士・環境計量士)

## ●申込要領 ▲必ずHP上にて以下の事項の詳細をご確認の上、お申込みください。

- Zoomの推奨環境を事前にご確認ください。予め「オンライン講座に関する規約」をご確認の上、HPよりお申込みください。  
当該規約をご確認いただける場合のみ、FAXでのお申込みを受付いたします。
- PC、インターネット通信環境(有線LAN接続、Wi-Fi推奨)、PCに接続可能なマイク、スピーカーをご用意ください。(PCに内蔵されている場合は不要)
- 受講資格はお申込みをいただいた方(1申込1名)に限ります。
- 申込締切後、受講決定者には受講票・受講料請求書等の必要書類をお送りします。
- テキストは受講日前日までにダウンロード形式で配布いたします。
- 申込締切後でも、定員に余裕がある場合はお申込みを受けられる場合がありますのでお問合せください。
- 講義中、許可なく講義内容の一部、およびすべてを複製、転載または撮影、配布、印刷など、第三者の利用に供することを禁止します。
- やむを得ない事情により、日程・内容等の変更や中止をする場合があります。その他、お申込みについてご不明な点は、右記へお問い合わせください。

## ●詳細はこちら

HPトップ>学びたい>研究者・技術者向け

## ●お申込み・お問い合わせ

地方独立行政法人  
神奈川県立産業技術総合研究所(KISTEC)  
教育研修グループ  
溝の口支所  
〒213-0012 神奈川県川崎市高津区坂戸3-2-1 KSP東棟1F  
Tel. (044)819-2033 e-mail: manabi@kistec.jp

## FAX送付先 044-819-2097

FAXでお申し込みの場合は、お手数ですが着信確認のお電話をお願いいたします。



## 『RoHS/REACHに対応する自律的管理システムの構築【導入編】』受講申込書

\*オンライン講座に関する規約を確認しました

ふりがな 氏名	年齢		歳	性別*	男	女
ふりがな 企業名	所属・ 役職名					
所在地	〒 - 都道府県					
TEL	(内)	FAX	E-mail		@	
以前にいずれかの講座を受講したことが*			今後、KISTECからの情報をお送りしてよろしいですか?			
ある・ない			●メールマガジン*		要 不要 ●教育講座DM*	
要 不要			要 不要			
資本金*	ア 3億円以下	イ 3億円超～10億円未満	ウ 10億円以上	エ 該当なし	従業員数*	ア 300人以下
情報入手先*	イ 301人～1000人未満		ウ 1000人以上			
ダイレクトメール・KISTECホームページ・メールマガジン・社内回覧・イベント会場での案内・講師からの紹介 受講生からの紹介・学会誌・学会のサイト( )・その他( )						

●講義で取り上げて欲しい質問や個別相談のご希望がございましたら、内容をご記入ください。(受講申込後にも承ります。)